R6年度【 自己評価結果表 】児童発達支援

公表:令和7年 5月

ぱんの木 きっず

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	4	0	0	子供の人数にあわせ、内容ごとに活動のスペースを分ける等、ゆとりのあるスペースで活動が行えるように工夫しております。	
2	職員の配置数は適切であるか。	4	0	0	ご利用の人数に合わせて、安全にのびのびと活動してもらえるように配置を調整しております。	
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	2	0		小さな段差はございますが、現在車椅子や身体的に上ることが難しい方はおられません。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	0	定期的にミーティングを行い、その中で振り返り・改善策等、目標設定の意見を出し合っております。	
5	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	4	0	0	保護者評価結果に職員全員が目を通し、ご意見いただいた点の改善に努めております。	
6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	3	1	0	ホームページにて公開しております。	
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	1		第三者の評価結果の記録はありませんが、様々な視点からのご意見をいただき、改善に繋げております。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	0	0	講習や事業所間の集まりに参加した職員から職員全体へ、内容を周知するように努めています。	
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	0	アセスメントを基にモニタリングを行い、支援計画を作成しています。	
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	1	0	個々に合わせて集中できる環境の準備や視覚的なアプローチを行い、職員全員が把握できるようにしています。	
11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	0	ガイドラインに沿った項目から、保護者様との面談、モニタリングの後、ガイドラインに沿った項目から、1人1人具体的に支援計画を作成し、職員周知した上で支援を行っています。	
12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	4	0	0	支援計画を基に職員間でモニタリングを行い、支援の方針を決定しております。	
13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	0	日々気付いたことや課題となる事を職員それぞれが記録し、記録を元に全体で意見を出し合っております。	
14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	0	集団プログラム、個々に合わせた個別課題や身辺自立訓練等、成長に合わせた取り組みを行えるようにしております。	
15	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	0	個々の成長に合わせて個別、集団活動の視点から支援計画を作成しております。	
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	1	0	日々、その日の注意事項、役割、配置について話し合っております。	
17	改善目標、工夫している点など 職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	0	その日の出来事、良かった点、反省点を話す場を設け、情報や児童の様子を共有しています。	勤務時間内に職員全員が情報共有できる時間がとれるよう業務内容の改善へ努めていきます。
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	0	日々の個別課題、集団プログラム、活動の様子を記録しております。 改善点、気付いた点等を職員全員が1つのノートへ記録できるようにし、検証、改善策へと繋げております。	
19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	3	1	0	定期的なモニタリングで、見直しや目標設定を行っております。	モニタリングの時間、頻度を増やせるよう業務内容の改善へ努めていきます。

20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	4	0	0	担当者会議にはその児童に関りの深い職員が参画するようにしております。	
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	1	2	1		現在、連携はできておりませんが、必要な際には積極的に連携をとっていきます。
22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の住宅支援のために地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	0	3	1		現在、医療的ケアの必要な児童、重症心身障害の児童はおりませんが、今後必要になった際には連携して支援を行っていきます。
23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	1	2	1		現在、医療的ケアの必要な児童はおりませんが、今後必要になった際には積極的に連携をとっていきます。
24	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	0	担当者会議等で情報交換し、相互理解を図っております。	会議の場以外でも連絡を取り合い、情報の共有に努めていきます。
25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	0	担当者会議等で情報交換し、相互理解を図っております。	
26	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	0	4	0		必要性のある場合は助言や指導を仰ぎ、研修等にも参加していきます。
27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	0	1	3	利用児童の兄弟にも活動に参加してもらい、関わる機会を設けています。	現在までは交流の機会はあまり設けられず、どのように設けていくか模索中ですが、積極的に交流できる機会をつくっていきます。
28	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	1	3		協議会児童の部が開催されている時間帯の参加が難しい事が多いが、勤務体制を見直し参加する機会を設けていきます。
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	0	送迎の際にお子様のその日の活動の様子、課題の経過等お話する時間を設けております。 LINEや電話等でもお話ができるようにしております。	
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	1	事業所で取り組んでいる内容や活動の中で意識しているところを保護者様に説明し、お家で意識されている事もお聞きした上で、お子様の自立に繋がるよう改善策や支援方法を話し合い提案しております。	
31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	ご契約時に説明を行います。ご不明な点がある際にはその都度分かりやすく説明を行っております。	
32	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	保護者様と面談のお話を踏まえた上で作成された支援計画を基に、目標や支援方針の説明を行い同意を得ております。	
33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	お悩みやご相談を受けた際には、迅速にお電話や面談の機会を設けております。	
34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0	1	3		現在は保護者会は行えておりませんが、今後は親子、保護者同士の交流が行えるイベントを考えていきます。
35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整えるとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	0	ご相談、申し入れいただいた際は担当職員が対応し、職員全体へ周知し、迅速に体制の改善へ努めております。 改善後は内容を保護者様へご報告しております。	
36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	2	0	月に1度予定表やおたよりの配布、行事（クリスマス会等季節の行事）を行う際には、その都度お知らせを配布しております。	
37	個人情報に十分注意しているか。	4	0	0	守秘義務を基に細心の注意を払っております。	
38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	0	視覚的に分かりやすくイラストや写真を使う、時間は時計の針の分かりやすいものを記載する等の配慮を行っております。	
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	0	3		現在行えておりません。 どのような方法が良いか模索中です。
40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	1	3	0	各マニュアルは策定しており、職員全員が確認できるようにしております。	保護者様等にも伝わるよう説明を行っていきます。
41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	0	月に1度は防災についての絵本、紙芝居や実際に防災頭巾を使用する等で子供たちに伝え、訓練しております。	近隣との兼ね合いもあり、児童を含めた避難訓練は行えておりませんが、職員間での訓練は行っております。
42	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	0	0	保護者様と情報を共有し、職員全員が周知の上常に意識しております。	

43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	1	契約時にアレルギーについての聞き取りを行っております。 職員全員が情報を共有し、張り紙等でも周知できるようにしております。	現在、医師の指示書の必要なアレルギーをお持ちの児童はおりませんが、必要な際には指示書に基づき対応していきます。
44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4	0	0	ヒヤリハット事例は記録し、職員全員で共有しております。	
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	0	研修やセミナーへ参加し、知識や情報を職員間で共有できるようにしております。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	1		現在身体の拘束を必要とされるお子様はおりません。 今後も身体拘束を行わずに支援を進めていきたいと考えています。